

電子部品の製造や塗装工程などで大敵となる静電気。対策に頭を痛める大手メーカーから注目を集めているのが、静電気除去機の開発を手掛けるTRINNC（トリンク、静岡県浜松市、高柳真社長）だ。自社開発した無風装置で、効率的に静電気を取り除く。各地の工場では不良品の発生率を大幅に引き下げること成功している。

派実力たくはは 発かおし

TRINNC

百台以上の発注が舞い込んだ。

従来の静電気除去機は発生させたプラスとマイナスのイオンを圧縮空気が扇風機で飛ばし、部品の静電気を消し去る原理を採用している。だが、

風でホコリが舞ったり、圧縮空気内の湿気が邪魔になってイオンが効率的に発生せず、除去が十分に終わってしまふなどの問題があった。

「効果があるのかわからないから静電気除去機は、おまじないみたいな物」と工場関係者が自嘲（じちよう）気味に語るほど。だが品質への要求水準が上がり、昔ながら問題にならなかつたホコリが原因の塗装ムラな



高柳真社長

でもクレームのもとになりかねない。静電気をいかに減らして、ホコリをつかなくするかは避けて通れない課題だ。

もともと電子機器の設計、開発を手掛けていた高柳社長は各メーカーの工場を回るうちに、こう

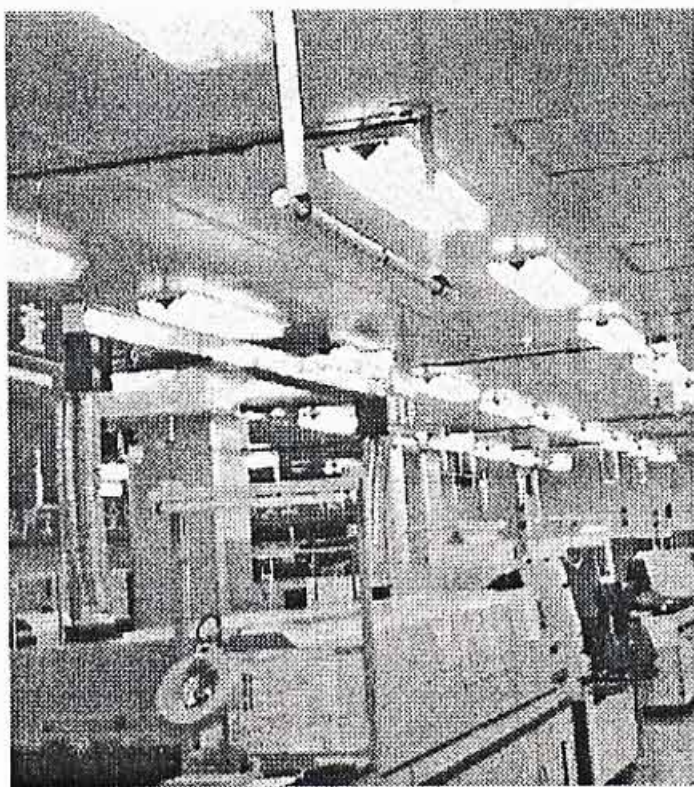
した問題に着目。より効果的な除去機を開発すれば有力な独自商品になると見込んで研究を続け、二〇〇二年に「空間トリンク」を完成させた。仕組みは単純だ。マイナスとプラスのイオンの放射口を分け、一定距離

静電気を除去する無風装置

静電気 物質にたまつた電気のこと。物が触れたりこすれたりしてプラス、マイナスの電子が偏って集まることで発生する。人が痛みを感じる程度の静電気放電で三キロほどだ。

キーワード

空中を漂うホコリもプラスやマイナスの電子を持っており、静電気を帯びた物はホコリをひき付けやすい。静電気によるホコリの付着は塗装ムラの原因となる。静電気放電が起ると塗装用スプレーに使うシンナーなどに引火する危険もある。集積回路などの電子部品では人が感じない微弱な静電気放電でも回路に傷が付き、正常に作動しなくなるケースがある。



工場の天井に取り付けられた棒状の「空間トリンク」

入り、パイオニアのプラズマディスプレイ工場や日立製作所の新幹線車両工場など多様な業種の工場から注文が集まった。ある工場では不良品の発生が四分の一に減少したという。

をあげて向かい合わせて放射。すると、それぞれのイオンが引き合う力で無風でも効果的に散布できる。圧縮空気内の湿気り、結局一年で百五十台で、イオンが発生しないといった問題も起きない。顧客の品質を見る目

はどんどん厳しくなっている。静電気・ホコリ対策はもっと重要になるはず」と高柳社長は語る。塗装工場専用の機器や、除電器とエアシャワーを組み合わせた商品など品ぞろえを充実させる。

来年度からは海外工場への営業も強化する。〇七年一月期に九千万円程度を見込む海外売上高を〇八年一月期に三億円以上に伸ばす。全体の売上高も来期は今期見込みの一・六倍、七億五千万円を目指している。

高柳社長は自社を「静電気とホコリのドクター」と位置づける。今後とも自ら、対策に困っている工場を訪問。「工場内の問題を自社製品開発のヒントにしていきたい」と、さらなる技術開発に意欲を燃やしている。

静岡

静岡 054-253-7191
浜松 053-452-8593

